

第29回 藤里町交通安全町民大会

10月29日、総合開発センターにおいて、第29回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全功労者や交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、交通安全運動への取り組みや意識を高め、町民一丸となって事故防止運動を積極的に展開することなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれているもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、各地区の交通安全推進員や関係者など、110名余が参加しました。

初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて石岡町長よりあいさつが述べられたあと、藤里中学校金子多鶴子校長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。その後、作文の部で最優秀賞と優秀賞を受賞した児童3名が作文の朗読をしました。

そして、最後に町交通安全母の会の市川久美子さん（大町）が大会宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

交通安全作品コンクール

【作文の部】

《最優秀賞》

- ◇藤原萌衣さん（藤里小学校3年）
「いのちをまもる一本のベルト」

《優秀賞》

- ◇新川真理さん（藤里小学校1年）
「みんなにまもられて」
◇加藤杏奈さん（藤里小学校3年）
「冬の道ろに気をつけよう」

《入選》

- ◇山田学飛さん（藤里小学校2年）
「やくそくをまもって」
◇安部彩さん（藤里小学校3年）
「かくにんはしつかりと」
◇菊地砂月さん（藤里小学校5年）
「自転車のりのルールを守って」
◇藤田こづえさん（藤里小学校6年）

- 「安全に乗るために」
◇市川大さん（藤里小学校3年）

「交通安全について」

【ポスターの部】

《最優秀賞》

- ◇細田満里奈さん（藤里小学校6年）
「よそみ」は事故のもと」

《優秀賞》

- ◇淡路うららさん（藤里小学校3年）
「スピードだしすぎちゆうい」
◇菊地凜伽さん（藤里小学校6年）
「手をあげてわたろう」

《入選》

- ◇門田虎太郎さん（藤里小学校1年）
「みぎひだりをみてわたろう」
◇石岡美夢さん（藤里小学校2年）
「みんなでしつかりシートベルト」
◇赤石龍星さん（藤里小学校3年）
「二人のりダメ」
◇安部陽菜さん（藤里小学校4年）
「シートベルトはみんなの命づな」
◇伊藤絵梨華さん（藤里小学校5年）
「シートベルトをしよう」

作品紹介

『いのちをまもる一本のベルト』



藤原萌衣さん

お父さんと妹と車にのっていました。
わたしと妹は、後ろのせせきにすわって

いたので、シートベルトをしていませんでした。

おしやべりにむちゆうになっていると、急に車がまがりました。

すると、わたしもすわっていられなくなつて、じよしゆせきに頭をガツンとぶつけてしまいました。妹は、下の足をおくところによこになつてたおれていました。

まがると思つていなかったの、びつくりして、ちよつといたかつたのですが、お父さんが、「大じょうぶ？」と心配していたので、「これくらい大じょうぶだよ。」と言つてしまいました。

でも、シートベルトをしていたらこんなことは起きなかつたと思います。

高そく道ろを走るときは、「後ろにすわっている人もシートベルトをしなくてはいけない」ということは知っていたので、やっていたましたが、いつもそのたびに「首がいたいなあ。早くはずしたいなあ。」と思つていました。

だから、ついついふつうの道ろを走るときは、シートベルトをしないでしまいます。

あのときは、お父さんもあまりスピードが出ていなかったし、何かにぶつかつたりもしなかつたので、わたしたちもころんだだけですんだのです。

テレビでこんな実けんを見たのを思い出しました。

人形をのせた車が、いきおいよく走りましました。人形はシートベルトをしていません。車がかべにおもいつきりぶつかると、人形の首や体がぐにやぐにやにまがつて、ガラスにぶつかつたり、外にとび出したりしていました。

人が、ふだんではできないような動き方